1 高等部の生徒数（R 6. 4 現在）

(1) 学年別生徒数

	1年	2年	3年	合計
男子	27	28	23	78
女子	7	17	10	34
生徒数	34	45	33	112
学級数	3	4	3	10

(2) 障害別生徒数

	1年	2年	3年	合計
知的障害	11	14	14	39
自閉的傾向	13	18	16	47
脳性疾患	1	2	1	4
染色体異常	9	8	2	19
その他の疾患	0	3	0	3
合計	34	45	33	112

2 高等部目標

将来の生き方や働き方について考え、選択し、自立する人を育てる。

3 教育課程

(1) 週日課

	月	火	水	木	金	
	登校（着替え・係の仕事）					
1	8:40	特別活動（SHR）				
	8:55	国語（朝読書）／保健体育	作業学習A	国語／保健体育		
	9:20	移動 5分		移動 5分		
2	9:25	国語・数学 自立活動	作業学習B	作業学習A	国語・数学 自立活動	作業学習B
	10:15	移動 5分		移動 5分		
3	10:20	職業／生単 総合／家庭	作業学習B	作業学習A	職業／生単 総合／家庭	作業学習B
	11:10					
4	12:00	日常生活の指導（着替え、給食準備）				
	12:30	給食				
	昼休み					
5	13:25	1年 選択教科 （音/美/情）	1年 保健体育	特別活動/ 日生（清掃）	1年 自立活動/道徳	1年 保健体育
	13:55	2,3年 保健体育	2年 選択教科 （音/美/理・社）	特別活動（SHR）	2,3年 保健体育	2年 自立活動/道徳
	14:15	3年 自立活動/道徳			3年 選択教科 （音/美/情）	
6	14:15	日常生活の指導（清掃・着替え）		下校 14:15	日常生活の指導（清掃・着替え）	
	14:35	特別活動（SHR）			特別活動（SHR）	
	15:00	下校 15:00			下校 15:00	
	部活動			部活動		

(2) 作業学習

作業学習を教育課程の中心に据えて、将来働くために必要な意欲、知識、技能、態度を育みます。

- ・作業学習A(委託加工作業)・・・企業から借り受けた資材を学校で規格通りに組み立て、作業技能及び作業効率、正確性などを養う。
- ・作業学習B(自主生産作業)・・・木工 陶芸 レザークラフト 籐工芸 縫工 農耕

(3) 職業自立を目指す教育（産業現場等における実習）

卒業後の生活を体験し、自分の進路を選び、決定する場として進路指導の中核をなす学習

【目的】

- 産業現場等において共に働き生活することで、職場やそこで働く人たちの様子（仕事ぶりや生活）を実感し、働く意味や働く生活のあり方を体験から考えることができる。
- これまでの学習の成果を発揮して、任された仕事に根気強く取り組むことができる。
- 社会人として望まれる規律ある行動や対人関係のあり方など、これまで学んだことを生かして、それぞれの実習先に合った社会生活を送ることができる。
- 将来の生活に向けて、現段階での自分を知り、課題を明らかにすることができる。
- 交通安全に十分気を配り、事故無く確実に通勤することができる。

【実習時期】

学 年	時 期	期 間
1 年	12 月	5 日間
2 年	6 月 10 月	10 日間
3 年	6 月 10 月	15 日間

(4) 主な行事

社会見学 修学旅行 体育交流会 作業製品販売会（11月、2月）

(5) 部活動＜希望者＞

- ① サッカー部 陸上部 バスケットボール部 音楽部 美術部
- ② 活動日は、月、木曜日の放課後

(6) 交流及び共同学習

- ③ 浜松江之島高校との交流（演奏会）

【学校公開等】

- (1) 南行政センター製品販売会 7月、1月
- (2) 作業製品販売会 令和6年11月9日（土）
五島協働センター等 令和7年2月6日（木）

4 卒業生進路状況(R 6. 4現在)

卒業年度	R 2	R 3	R 4	R 5	合 計
一般企業	24	11	12	13	60
就労継続支援A型事業所	3	1	5	2	11
就労継続支援B型事業所	13	9	7	10	39
就労移行支援事業所	15	12	8	3	38
生活介護事業所	8	13	15	11	47
職業訓練校など	0	0	0	0	0
その他	3	6	2	1	12
卒業生徒数	66	52	49	40	207

< R 5年度 主な企業就労先 >

遠州鉄道(株) トヨタユナイテッド静岡(株) CTCひなり(株)
 共和サポートアンドサービス(株) 京丸園(株) 静岡マツダ(株)
 (株)はま寿司 社会福祉法人三和会 NTTアノードエナジー(株)